

小笠原で暮らすイルカたち～新生児が続々と誕生しています！～

前回のイルカ通信では、今年7月に出産を確認したミナミハンドウイルカ4頭をご紹介しました。その後も続々と新生児を連れたメスイルカが確認されており、9月の時点でその数は合計10頭となりました。今号では、新たに出産を確認した個体たちをご紹介します。

9月上旬に新生児を確認

#59 女
ペロちゃん
観察歴
2004年～



写真提供：小林美由記

右側の口元にペロっと舌を出したような白い斑があるのが特徴。これまで父島列島周辺海域のみで確認されています。#321（Bライン）や#347（アイーン）の母親でもあります。

8月上旬に新生児を確認

#98 女
ニコちゃん
観察歴
2002年～



写真提供：小林美由記

これまで聟島・父島列島周辺海域において確認されている個体。お腹からクチバシまで、とてもたくさんの斑点模様があります。2021年夏にも新生児を連れていましたが、翌年は同伴が確認されておらず、当時連れていた仔イルカは死んでしまったと考えられます。

8月下旬に新生児を確認

#100 女
おたまちゃん
観察歴
2004年～



尾ビレの付け根付近に丸い出来物のある個体。これまでに聟島・父島列島周辺海域で出会えています。#102（オール）の母親であり、#352（おたまご）の祖母でもあります。

9月上旬に新生児を確認

#210 女
C子ちゃん
観察歴
2006年～



写真提供：打込みゆき

聟島列島周辺海域を利用する個体。左胸ビレにある「C」の形の白斑が一番の識別ポイントですが、背ビレも特徴的です。2020年夏に出産した子どもの#368（ミミシロ）は、どうやら約3年で親離れしたようです。

7月下旬に新生児を確認

#284 女
ヘコ美
観察歴
2013年～



写真提供：打込みゆき

尾柄部の上部に凹みがあるのが特徴。これまで聟島列島周辺海域でのみ確認されています。昨年の夏までは、背ビレが「Σ」型に欠けた#371（シグマ）を連れていました。

8月下旬に新生児を確認

#330 女
ピッケ
観察歴
2016年～



背ビレの欠け方が特徴的な個体。確認海域は聟島・父島列島です。7月上旬には、2年連続となるハシナガイルカの新生児の同伴行動が確認されました。

このほかにも、「この子が新生児を連れていたよ！」という情報（特に母島列島周辺海域）がありましたら、ぜひお知らせいただけますと幸いです！